

総長就任挨拶 役員新体制紹介 平成29年度入学式の挙行 本学永年勤続者表彰に96氏

お知らせ

- ・大学文書館公文書室が「国立公文書館等」の指定を受ける
- ・平成29年度 人間ドックの実施について



工学系部局で平成28年度工学系産業技術フォーラムを開催

工学系部局では例年、工学系の学生向けの就職支援策の一環として、工学院教育・キャリア企画室が主催して工学系産業技術フォーラムを開催しています。

本フォーラムは、様々な産業分野における業務内容やそこで求められる技術や専門性、具体的な仕事の内容について、産業界で活躍する方々のお話を聞き、業界やそこで働く技術者・研究者に対する学生の理解を深めることで、進路を見据えた勉学意識の向上や、主体的な企業・業界研究の促進を図ることを目的として開催しています。主に工学部3年次、工学院・情報科学研究科・総合化学院の修士課程1年次及び博士後期課程2年次の学生を

対象としており、平成28年度は3月1日（水）から3日（金）までの3日間、工学部B棟アカデミックラウンジ1・2において開催しました。

期間中、卒業した先輩方の就職先を含む152社の企業、延べ912名の学生が参加し、立ち見が出るほど大盛況でした。



フォーラム会場内の様子

また、本フォーラムと並行して外国人留学生対象のフォーラムも開催しており、工学系部局では外国人留学生を含めた総合的な就職支援策を進めています。

(工学院・工学研究院・工学部、
情報科学研究科、総合化学院)



外国人留学生対象のフォーラム会場の様子

工学研究院で寄附分野「原子力支援社会基盤技術分野」の開設式を挙行

工学研究院では、3月1日（水）、工学研究院B11教室において、寄附分野「原子力支援社会基盤技術分野」の開設式を執り行いました。この寄附分野は、我が国及び世界各国において今後の電源構成に必須と考えられる原子力エネルギーの活用と安全性向上を支援するため、日本を代表する複数の企業（北海道電力株式会社、東北電力株式会社、電源開発株式会社、日本原燃株式会社、三菱重工業株式会社、株式会社東芝、日立GEニュークリア・エナジー株式会社、株式会社シー・エス・エー・ジャパン）からのご寄附により、工学研究院エネルギー環境システム部門内に設立されたものです。これにより、本学における防災避難計画立案や廃炉加速、燃料サイクル負荷軽減、安全性の極めて高い新型将来炉やその立地計画支援などに関する研究開発及び人材育成がさらに加速されるものと期待されます。

開設式では、名和豊春工学研究院長の挨拶（代読）の後、大内 全氏（北海道経済連合会名誉会長、前北海道電力株式会社副社長）より祝辞を賜りました。続いて、同分野を担当するエネルギー環境システム部門の森 治嗣特任教授より、同分野の概要説明とともに支援企業の紹介が行われました。さらに、ナント大学（フランス）Bernd Grambow教授による基調講演が行われ、国際的な視点から見た原子力技術の研究開発及び人材育成の重要性のほか、新たに設置された寄附分野への期

待が述べられました。最後に、エネルギー環境システム部門長の小崎 完教授より挨拶がありました。

開設式後には、工学研究院A4-63室にて祝賀交流会が行われ、支援企業の方々や、本学関係者及び学生も参加し、活発な意見交換が行われました。開設式及び祝賀交流会には総勢60名以上の参加があり、盛会のうちに終了しました。

(工学院・工学研究院・工学部)



森特任教授による寄附分野の概要説明



ナント大学 Grambow教授による基調講演